

2020・2021年ナラ枯れ被害状況データ解析

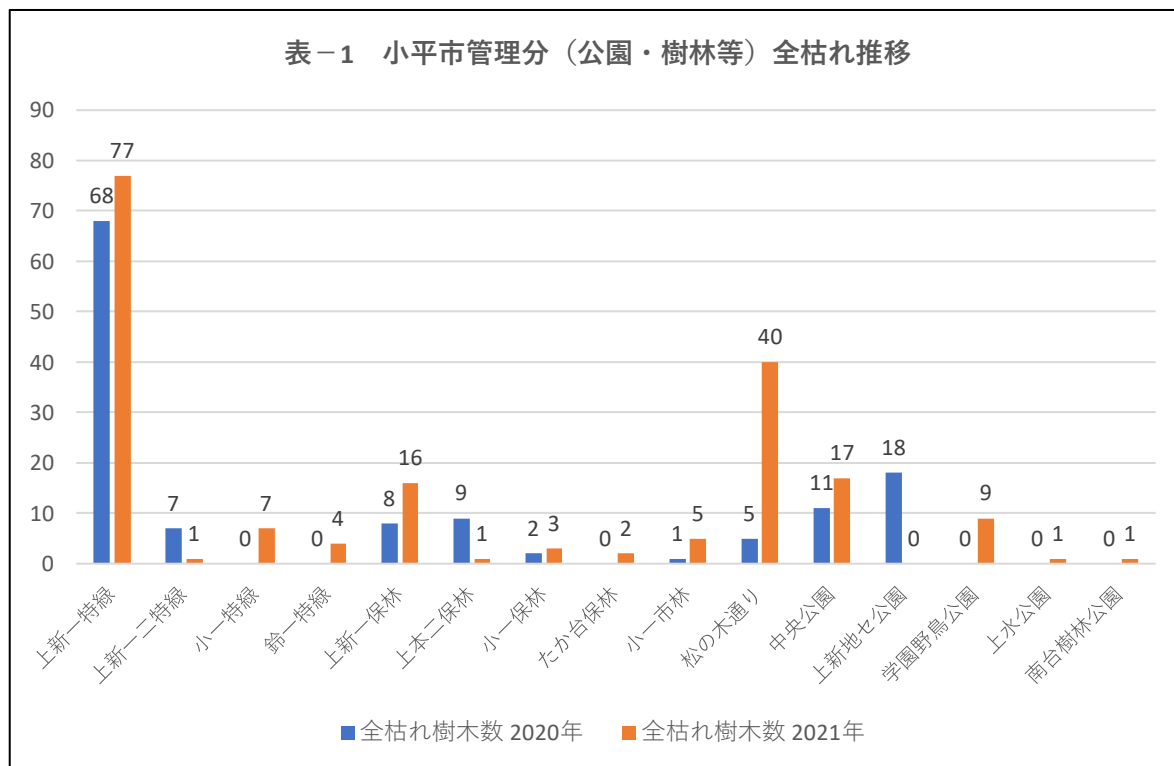
(小平水と緑と公園課データによる)

2022/1/27

小平市緑化推進委員会

椎名豊勝

表-1 小平市管理分（公園・樹林等）全枯れ推移



上新一特緑	上水新町一丁目特別緑地保全地区一帯
上新一二特緑	上水新町一丁目第二特別緑地保全地区
小一特緑	小川町一丁目特別緑地保全地区
鈴一特緑	鈴木町一丁目特別緑地保全地区
上新一保林	上水新町一丁目保存樹林
上本二保林	上水本町二丁目保存樹林
小一保林	小川町一丁目保存樹林
たか台保林	たかの台保存林
小一市林	小川一丁目使用樹林
上新地セ公園	上水新町地域センター公園
上新地セ	上水新町地域センター公園

表-1：個々の樹林・公園毎に2020年と2021年の全枯れ被害本数を比較したグラフです。そもそもナラ枯れ病の対象木である、個々の樹林や公園のコナラ、クヌギ等の全体数が不明であるので被害率はわかりませんが、全枯れ被害木絶対数で比較すれば

- ・上水新町一丁目特別緑地保全地区一帯と松の木通りが大きな全枯れ被害数となっています。前者は大きな雑木林であり全枯れ被害木も多くなつたと推察されます。一方後者は大きな雑木林の都保全区域に隣接しており、保全区域と一体と捉える必要があります。しかし、ナラ枯れ病の全体対象木（コナラ、クヌギ等）を松の木通りで把握しておく必要があります。
- ・被害が増加している上水新町一丁目保存林（8→16本）、中央公園（11→17本）残るナラ枯れ病対象木の把握と今後の被害状況に注意を要します。
- ・被害が減少している上水新町一丁目第二特別緑地保全地区（7→1）上水本町二丁目保存林（9→1）上水新町地域センター公園（18→0）について今後の推移を注視する必要があります。

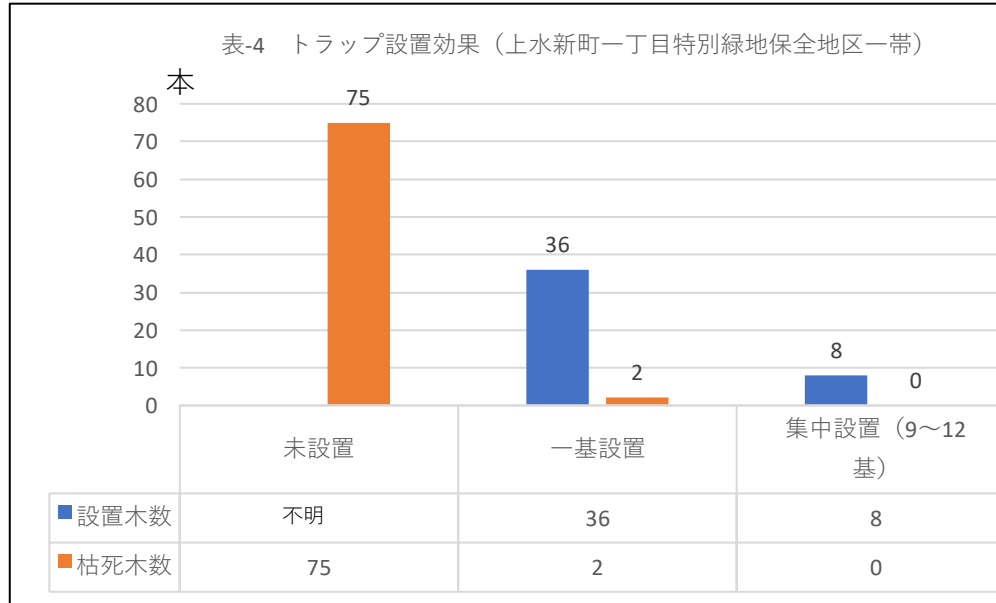
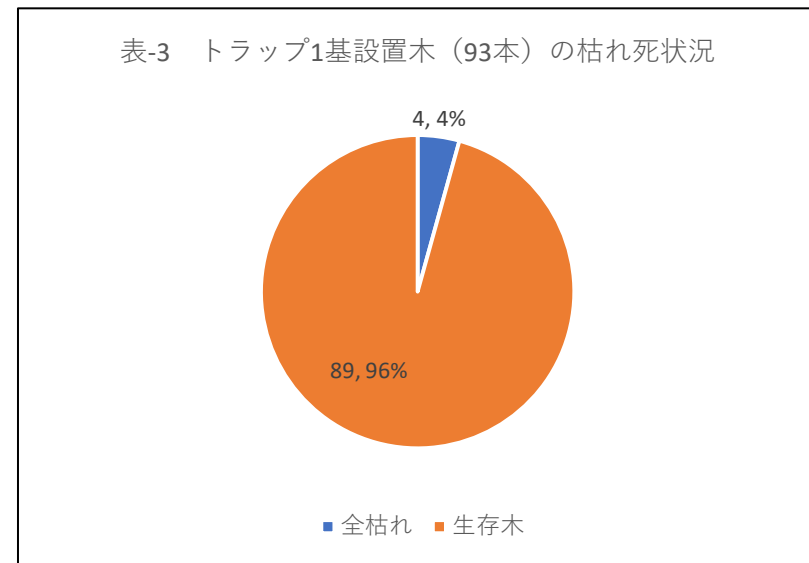
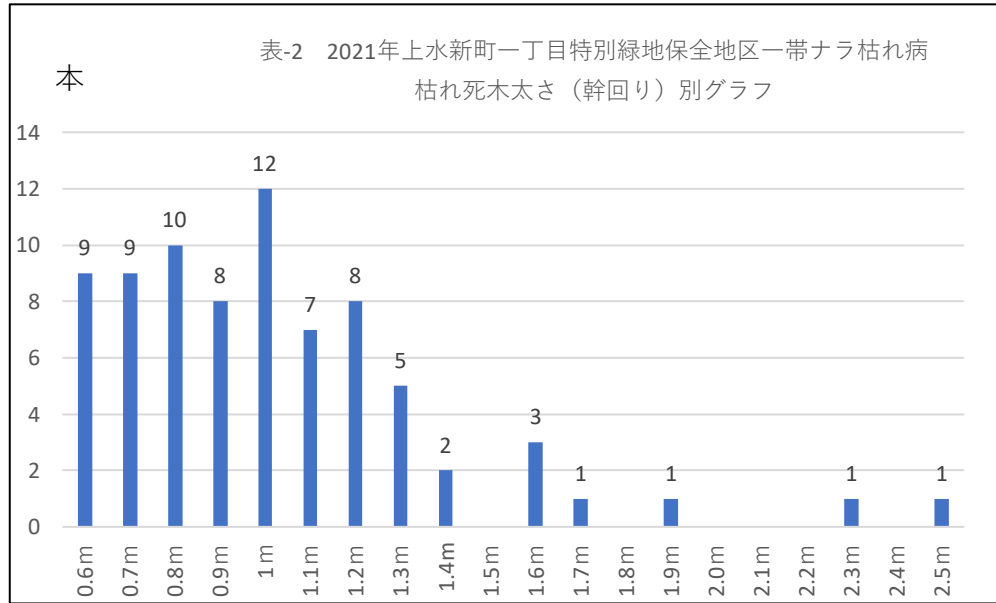


表-2：2021年上水新町一丁目特別緑地保全地区一帯の全枯れ被害木の太さ（幹回り）をランク別に表したグラフです。幹回り0.6m以上で被害が発生しています。直径では0.2m程度ですからかなり細い木にも発生していることがわかります。

表-3：小平市全体では93本の樹木にまずトラップ1基を設置した。結果4%の全枯れ被害にとどまっています。被害率が多いは少ないかわりませんが、マスアタック木の判定予想に研究の余地があるやもしれません。何故なら集中設置木の全枯れ被害はないからです。

表-4：2021年の上水新町一丁目特別緑地保全地区一帯のトラップ未設置、1基設置、集中設置の違いによる効果を比較したグラフです。未設置は全体数がわかりませんので被害率は不明ですが、1基設置では6%の被害、集中設置では被害なしとなっています。1基設置で効果あるように見えますが、むしろトラップ方式実施の被害率が4.5%とと見るべきでしょう。これを如何にして0%できるかです。